



第120号 2014年11月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3178 FAX 0838-26-5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主 な 内 容

史料探究 初公開！杉文が筆写した松陰の和歌	P4
夢追人 集落営農支援員 桔梗聖子(萩市)	P6
総合診療科 医師 齋藤裕之(萩市)	P7
気になるお店紹介 旬鮮 Dining 次男坊 松本昌二(萩市)	P8
中原木材工業 家具職人 中原忠弦(萩市)	P9

玉本文之進は、吉田松陰の父杉百合之助の末弟で、11歳のとき玉木家を継ぎました。松陰や文の叔父にあたります。

松下村塾の名は、文之進が天保13年(1842)自宅で開いた私塾に名付けたのが始まりといわれ、幼い時期の松陰も通っていました。文之進が官職に就いて多忙になると、この塾は閉鎖されましたが、塾の名は松陰の外叔にあたる久保五郎左衛門が継ぎ、その後に松陰が継承しました。

旧宅は、今も当時の場所にあり、一般に公開されています。

松下村塾発祥の地 玉本文之進旧宅



大河ドラマ「花燃ゆ」

萩市で2回目のロケ！

鍵曲などで撮影！

9月30日から10月2日にかけて、ヒロイン文役の井上真央さんをはじめ、小田村伊之助（楢取素彦）役の大沢たかおさん、吉田松陰役の伊勢谷友介さん、久坂玄瑞役の東出昌大さん、杉梅太郎役の原田泰造さん、杉寿役の優香さん、金子ツル役の麻生祐未さんなどが来萩し、鍵曲や口羽家住宅、大照院などで、萩では2回目となる「花燃ゆ」のロケが行われました。

■問い合わせ 大河ドラマ推進室（25・3139）

新キャストの皆さん

長州藩の女性たち

■松坂慶子さん（藩主毛利敬親の正室・毛利都美子役）

1952（昭和27）生まれ。大河ドラマ「篤姫」で幾島役など。

■かたせ梨乃さん（小田村伊之助の養母・小田村志乃役）

1957年（昭和32）生まれ。大河ドラマ「武蔵MUSASHI」でお甲役など。

■麻生祐未さん（金子重輔の母・金子ツル役）

1963年（昭和38）生まれ。大河ドラマ「武田信玄」で濃姫役など。

■井川遥さん（松陰が野山獄で出会う女囚・高須久子役）

1976年（昭和51）生まれ。大河ドラマ「風林火山」で伊勢役など。

■若村麻由美さん（棕梨美鶴の妻・棕梨美鶴役）

1967年（昭和42）生まれ。大河ドラマ「篤姫」で観行院役など。

■宮崎香蓮さん（入江九一・野村靖の妹・入江すみ役）

1993年（平成5）生まれ。映画「育子からの手紙」などに出演。

■小島藤子さん（吉田松陰の妹で文と幼なじみ・吉田ふさ役）

1993年（平成5）生まれ。映画「書道ガールズ!!わたしたちの甲子園」などに出演。

長州藩保守派の重臣

■内藤剛志さん（棕梨藤太役）

1955年（昭和30）生まれ。大河ドラマ「翔ぶが如く」で有馬新七役など。

徳川幕府の長老

■高橋英樹さん（井伊直弼役）

1944年（昭和19）生まれ。大河ドラマ「篤姫」で島津斉彬役など。

松下村塾の塾生

■佐藤隆太さん（前原一誠役）

1980年（昭和55）生まれ。大河ドラマ「風林火山」で矢崎平蔵役など。

吉田松陰の親友・肥後藩士

■ビビる大木さん（宮部鼎蔵役）

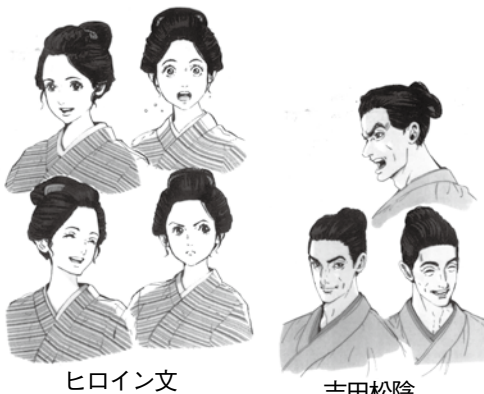
1974年（昭和49）生まれ。大河ドラマ「新選組!」、「龍馬伝」などに出演。萩ふるさと大使。

「花燃ゆ」放送開始まで、あと2カ月

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送開始まで、あと80日となった10月16日、来年1月4日（日）の放送開始までの日数を表示するカウントダウンボードが萩市役所などに設置され、萩でもいよいよと盛り上がってきました。

ヒロイン文および吉田松陰イメージイラスト

萩市大河ドラマ「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会が、観光パンフレットや大河ドラマ館での映像アトラクションで使用するために、萩ふるさと大使で萩市出身の漫画家の桐木憲一さん（東京都在住、2014年3月号で紹介）に依頼し、描いてもらったもので、主要な登場人物についても順次公開される予定です。



「文と萩物語」ラッピングバス運行開始



「文と萩物語」ラッピングバス（萩循環まあーるバス）

10月28日、文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラマ館のPRロゴマークやヒロイン文のイメージイラストがラッピングされた萩循環まあーるバスの運行が開始されました。大河ドラマ館の開館に伴い、ドラマ館前にも停車し、萩バスセンターやJR萩駅、東萩駅など交通の起点、ゆかりの地などがワンコインバスで結ばれる予定です。萩に帰省の際は、ぜひご利用ください。

■問い合わせ

萩市大河ドラマ推進室
（0838・25・3139）

燃ゆ



9月22日のキャスト発表会

〔後列左から〕小島藤子さん、佐藤隆太さん、高橋英樹さん、内藤剛志さん、宮崎香蓮さん
〔前列左から〕かたせ梨乃さん、松坂慶子さん、井上真央さん、若村麻由美さん、麻生祐未さん

※萩ロケ取材会の様子ほか「花燃ゆ」の最新情報は、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」NHKオンライン
<http://www.nhk.or.jp/hanamoyu/>
(NHKオンライン 花燃ゆ で検索) でご覧いただけます。

萩時代まつりに井上真央さん・高良健吾さん

萩時代まつりと同時開催されるNHK山口放送局主催のラジオ公開生放送にヒロイン文役の井上真央さん、高杉晋作役の高良健吾さんが出演され、撮影の舞台裏などのトークが繰り広げられます。高良さんは正午からの萩時代パレードの一部（中央公園から御許町交差点）にも参加される予定です。ラジオ公開生放送

〜4時（開場 午後1時30分）
※午前9時30分から中央公園特設ステージ横で優先エリア入場整理券を配布。
※ところ 中央公園（旧市民球場跡地）※雨天時は旧明倫小学校体育館。
※放送 NHKラジオ第1（山口県内向け生放送）
お問い合わせ 萩市観光課
（0838・25・3139）

文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラマ館

ドラマで使用した衣装や小道具、撮影セットの展示など、大河ドラマの世界観が体験できます。

◆開館期間 平成27年1月11日（日）〜平成28年1月10日（日）
◆開館時間 午前9時〜午後5時（入館は午後4時30分まで）
◆ところ 旧明倫小学校体育館

1月11日（日）開館

◆お問い合わせ 萩市大河ドラマ推進室（0838・25・3139）

◆前売入場券販売中！

◆前売券 大人400円（当日500円）、小・中学生160円（当日200円）
◆販売期間 平成27年1月10日まで

◆販売窓口 コンビニなど
※詳しくは、協議会ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.city.hagi.lg.jp/fumi-hagi/>

◆お問い合わせ 萩市大河ドラマ館入場券販売管理センター
（080・2922・7750）



ドラマ館内のイメージ

萩沖の海幸セレクション「ふみ御膳」&「ふみ弁当」

「ふみ御膳」は、ヒロイン文にちなんで、萩沖の水産物の中から女性にゆかりのある旬の魚介（地元漁師が「べっぴんさん」と呼ぶアマダイなど季節により異なります）を萩焼や萩ガラスなど萩の器と9マスの萩桐箱で提供するもので、「ふみ弁当」は、6マスの器で提供します。提供期間は、平成27年1月10日〜12月末。

【提供店】

◆ふみ御膳 市場前レストラン 来萩、割烹千代、和バルあつかい、トラットリアAKKA、だいにんぐまめた、萩の御厨高木、小味季（要予約）、萩の宿常茂恵（要予約）
◆ふみ弁当 御食事処わらじ

【仕出し】

◆ふみ弁当 シズキ、いのうえ、きたむら
※詳しくは、萩魚食王国ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.hagi-gyosyokukoku.com/>
◆お問い合わせ 萩市観光協会（0838・25・1750）



ふみ御膳
2,400円（税別）、常茂恵は3,500円（税別）
ふみ弁当1,500円（税別）

世界遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産」

イコモスによる現地調査が終了



恵美須ヶ鼻造船所跡の防波堤を調査するイコモスの調査員たち

来年の世界文化遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」は、山口県、福岡県など8県11市にある23件の資産で構成されています。現地調査はユネスコの諮問機関である、国際記念物遺跡会議（イコモス）のオーストラリアの調査員により、9月26日から10月5日にかけて23資産のすべてで行われました。これは調査員が現地を訪れる唯一の機会です。

◆萩の資産も調査

このうち萩市の資産は9月29日、「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」「大板山たたら製鉄遺跡」「萩城下町」「松下村塾」の5件で実施。市や県の担当者から資産の保

全状況などについて説明を受け、今年1月に政府がユネスコに提出した推薦書の内容などを確認しました。恵美須ヶ鼻造船所跡では、幕末の絵巻物にも石積み工事の様子が描かれている防波堤に上がり、保存状況などを確認しました。

◆来年夏頃に登録の可否が決定

今後、今回の調査等をもとに審査が続けられ、来年5月頃にイコモスがユネスコに世界遺産として登録すべきかどうかを勧告。6〜7月頃にドイツで開かれるユネスコ世界遺産委員会で登録の可否が決まります。

◆お問い合わせ 萩市世界遺産登録推進課
（0838・25・3380）

初公開！杉文が筆写した



松陰の和歌

発掘された文の直筆の書

大河ドラマ「花燃ゆ」の放映が決定して以来、私は、主人公として描かれる杉文（楯取美和子）の資料（史料）を可能なかぎり集め、本誌で紹介させていただいている。今回は満を持して、とっておきの資料をとりあげたい。それは、萩博物館で最近見つかった文の直筆の書である。

文の直筆の書は2枚ある。いずれも大正5年（1916）、文が74歳の時に亡き兄吉田松陰の和歌を書き写したもので、兄への思いを形に表した数少ない資料である。恥ずかしながらこれは、灯台下

暗しの資料であった。というより、今まではまったくといってよいほど文に関心を抱く人がいなかったため、この資料を世に出す機会に恵まれなかったのだ。新しい資料の発掘につながったという意味で、これも大河ドラマ効果の一つに相違ない。

2枚の書は、昭和55年（1980）文の兄杉梅太郎（民治）の子孫から萩市に寄贈された、約6200点にも上る膨大な資料群の中から見つかった。写真1・2に示すとおりのもので、サイズはいずれも縦横が約35×25センチであるから、B4判用紙とほぼ同一の大きさといえ、イメージしやす

いかと思う。専門的には半紙と呼ばれるものである。これらは、写真の左下部分をよく確認すればおわかりいただけるように、「大正五年四月 楯取美和子書」と書かれて

写真1 楯取美和子書

いるため、文の直筆

に間違いない。この時、文がなぜ兄松陰の和歌を書き写したか、その理由は定かでないが、2首とも松陰がいつくしんだ親や妹たちに贈ったものであるという点で共通する。文が杉家の家族の深いつながりを再確認するために、兄の和歌を反芻したことは想像にかたくな

松陰から妹たちへ 託された思い

写真1の書には、「心あれや人の母たる人たちよかからん事は武士のつね」という和歌が書かれている。これは、野山獄中の松陰が安政6年（1859）5月17日、妹たちから心得とすべきことを授けてほしいと頼まれて贈ったものである。妹たちが千代・寿・文の3人を指すことはいうまでもない。松陰が実際に妹たちへ贈った和歌は、掛軸の状態で松陰神社（至誠館）において大切に保存されている。

この和歌を細かくみておくと、松陰は当初、5句目を「武士の習ぞ」としていたが、のちに「武士の常」と改めている。もつと具体的にいえば、松陰神社に現存している掛軸には「武士の習ぞ」と書かれてはいるが、松陰の「東行前日記」には「武士の常」と書かれて

いるのである。無論、文は後者を書き写したことになる。

松陰は、妹たちに和歌を贈った時、江戸行きを目前に控えていた幕府が進めていた尊王攘夷派（反幕府勢力）の大弾圧、すなわち安政の大獄の一環で、江戸への呼び出しを受けたからである。この時松陰はすでに死を覚悟していた。松陰は、主君のために命を捧げるのは武士たる者の定めと認識していたからこそ、妹たちに自分の思いを託したのだ。

そのことを裏書きするのは、松陰が5月14日に千代・寿・文の3人に送った手紙だ。それには「拙者このたび假令一命差し捨て候とも、国家の御為めに相成る事にはば本望と申すものに候。両親へ大不孝の段は先日申し候様其許達仰せ合され、拙者代りに御尽し下さるべく候」とある。

意識すると、松陰は妹たちに、「自分の命は国のために捨てるのだから本望ですが、両親に対しては大きな不幸です。よって、以前からあなたたちに伝えてきたとおり力を合わせて、私の代わりに親孝行をしてください。」というのである。

松陰はこのように妹たちに言い残して、5月25日に江戸へ送られた。文にとつては決して忘れることのできない兄からの教訓であったに違いない。ちなみに、寿の夫で松陰の義弟にあたる楯取素彦が松陰の和歌を



オリジナルフレーム切手
明治維新150年記念
シリーズⅡ

明治維新から150年となる平成30年（2018）まで、毎年150年前のできごとを中心にシリーズ化。第2弾の今年は、元治元年（1864）の「禁門の変」、「長州戦争」、「晋作拳兵」などに関連したデザインとなっています。

11月7日に日本郵便中国支社から発売されます。

■販売部数 1300部

■販売場所 山口県内の一部の郵便局（170局）、萩市観光協会での通信販売

■1シート 82円×10枚

■価格 1230円

※通信販売は1590円（送料込、振込手数料別途）

通信販売に関する問い合わせは、萩市観光協会（0838・25・1750）

■問い合わせ

日本郵便株式会社中国支社
（082・2224・5991）

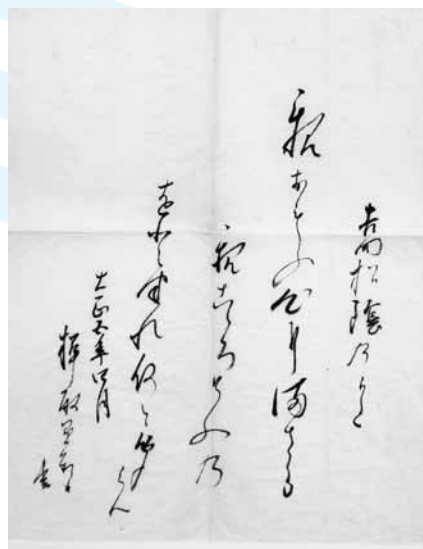


写真2 楯取美和子書

は、松陰が死刑を覚悟して書いたため「永訣書」と呼ばれている。松陰の松下村塾生あての遺書「留魂録」にある「身はたとひ武蔵の野辺に朽ちぬとも留め置かまし大和魂」とも、辞世として大

亡き兄松陰を慕う 文の証言

松陰の生前の様子については、千代がもつとも多くの証言を残している。千代は、長兄梅太郎と四つ違い、次兄松陰とは二つ違いであったから、ともに過ごした幼少期のことをよく覚えていた。千代は、梅太郎と松陰は仲睦まじい兄弟だったとか、松陰は父杉百合之助や叔父玉木文之進から厳しく教育されたとか、松陰には趣味は何一つなかったとか、あれやこれやと語り残しているの、今やその証言は貴重な資料となっている。それに比べると、文は松陰と13歳も離れているため、記憶に残るような出来事は少なかったのかもしれない。しかしわずかではあるが、文も次のような証言を残している。

「松陰さんが若い時、修業のため萩の林と云う家に居ったことがあります。適々火事があつて林家が焼けました。この時松陰さんは、一切自分のものは出さずに、林家のものを出したそうであります。それで自分の着る着物が焼けてしまったので、母にかくかくであるから、着物を下さいと申したそうであります。母はこの事を聞き、非常に感心し、寅次郎は感心だと申して、着物を作ってやったことがあるそうであります。母はこの事を非常に喜んで居つたのであります。」

松陰は萩城下川島の実人（百非）の家に下宿し、兵学を教わっていたところ不運にも火災に遭つた。弘化3年（1846）、17歳の時の出来事で、自分のものは大半が焼失したが、藩主毛利敬親から褒美として授けられた『七書直解』一冊だけが残った。また文は、母杉滝が子供たちにもどのように接したかについて、次のように語っている。「母は子供の躰はやかましくはなかつたのであります。兄松陰さんなどにも、やかましくは言わなかつたのであります。口私ども、女には、女は堪忍強くなければならぬと話されました。又外には出るな、物見、見物にも出るなと申されました。手習は精出してせよ、字が出来ぬと嫁にいつてから骨が

折れ、苦勞が多い、自分なども十分に字が書かれぬために、涙の出るようなことが度々あつたから、お前等は字だけは能く習つておくと、度々申されました。従つて貧乏の中にありながら、私共の教育には心を用いてくれられまして、どんなに忙しい時でも、学問するのだけには時間を与えてくれられましたので、家事のために学業を欠いたことはないであります。」

滝は、松陰ら男子より、文ら女子の教育に厳しかった。松陰も文に手習（習字）を身につけさせるよう気にかけていたが、それは滝も同様であった。女子教育に熱心な松家の様子がよく伝わる逸話である。

萩博物館特設展示室にて 初公開展示

今回紹介した文の直筆の書は、来る11月8日、萩博物館に開設する特設展示室「兄松陰と妹文」において初めて展示公開する予定である。文に関心を抱いておられる方には、ぜひとも実物をご覧いただき、和紙に墨で書かれた質感を確かめていただきたい。

参考文献・山口県教育会編『吉田松陰全集』、斎藤鹿太郎「吉田松陰正史」(第一公論社、1943年)

道迫宣吾(萩博物館主任学芸員)

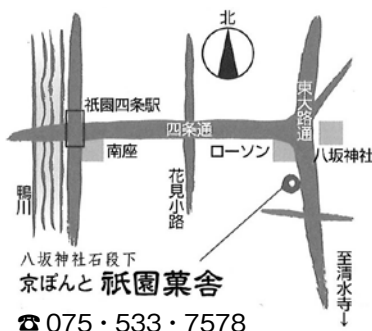
150年ぶりに京都で復活販売
萩・明治維新150年
記念事業プロジェクト
「長州おはぎ」

長州おはぎは、元治元年に、京都で流行したと伝わるもので、盆の上に箸と3個の「おはぎ」で毛利家の家紋「一文三三」を表しました。当時の長州びいきを表したのもとも言われています。

京都の京伏見菓匠「和晃」(萩市出身の井町正さん(萩高4期)が創業)の協力で販売中です。販売場所 京ぼんと祇園菓舎(京都市東山区祇園町南側533) 店内でのお召し上がり(萩焼皿付き)1000円(税別)、お持ち帰りパック360円(税別)



京ぼんと祇園菓舎



八坂神社石段下 京ぼんと 祇園菓舎
☎075・533・7578
http://www.okashi-wakou.co.jp

集落営農
支援員

ききょう さとこ 桔梗 聖子さん

(東京都出身、萩市むつみ在住、26歳)



農業従事者の平均年齢が70歳を超え、後継者不足などの課題に直面している萩市では、未来に持続可能な農業の実現を目指す各種事業を展開しています。

平成25年春、東京都から単身萩市むつみ地域に移り住み、農作業に併せて、地域コミュニティ活動などの支援を行う集落営農支援員として活動している、桔梗聖子さんにお話を聞きました。

幕末の歴史が好き

小学生の頃から、高杉晋作や長州藩が好きで、山口県や萩市の場所も知っていました。幕末の歴史が好きなんです。なぜ高杉晋作が好きだったのかは、よく覚えていません。後から思うと、偉人が好きとか、何をしたら好き

ということではなく、その人が書いた日記や手紙に共感したのだと思います。

吉田松陰の処刑を知った高杉晋作が周布政之助に宛てた手紙の最後に「言い訳(不平)を先輩に書くことを許してください。書いてしまいました」というようなことが小さな字で書かれていました。最後に書きたくない言い訳を書いてしまったので小さな字になったのではと共感できて、人間味を感じました。

大学に進学したところから、将来は山口県に住んでみたい気持ちと、いつかは農業がしたいという気持ちもありましたが、萩は観光地の印象が強く、農業ができる場所があるとは思っていませんでした。平成22年の秋、観光で初めて萩

を訪れました。私は海の側で育っていないのですが、海を見て安心するというか、すごく気に入ったんです。指月山と菊ヶ浜の風景が大好きです。

単身、山口県萩市へ

卒業したら山口県に住みたいという思いをいつも口に出していたので、友達の後押しもあり、就職活動は山口県で思っていました。平成24年の夏、山口県の就職フェアに行き、企業の説明などを聞きました。会社勤め・・・、なにか違うと思うとき、就農のコーナーが目に入りました。

将来、農業につながるような仕事はないかと相談すると、萩市に集落営農支援員という農作業と地域振興の仕事の求人があると聞き、翌日は市の職員の方とむつみなどの地域を回りました。その日は天気が良くて、空が青く、石州瓦が赤くて、穂に色がつき始めていて、なんて明るいところだろうと思いついた印象的でした。

外部の人が地域振興に携わるのは難しいことだと思っていました。が、まず住んで、徐々に人の関係ができればとも考え、移住を決めました。

トマト栽培と地域振興

集落営農支援員の仕事のひとつは、ハウスでのトマト栽培で、管

理、収穫、出荷の手伝いです。

収穫は6月から11月、12月から5月は、片付け、堆肥などの土づくり、苗の準備・管理という流れです。トマト作りは楽しいですが、厳しさをまだわかっていないと思っています。農業の基礎知識がないと、どういう仕組みなのか納得がいかなかったり、考えすぎたり、しつくりこななかったり。

家では小さな菜園で、野菜やハーブ、花など20種類ぐらいい作っていて、野菜を買うことはほとんどありません。穫れた野菜をどのように消費しようか、保存もできるようなと考えたりします。

体調を崩しやすかったのですが、農作業をすることで夜はよく眠れて、ご飯も美味しい。体調管理もできて、朝が来るたびに嬉しさを感じます。

地域振興の仕事は、お祭りの準備などもあり、特に10月は行事が多いです。また、地域のスポーツ交流などにも参加の機会をいただくようになり、さまざまな年代の方やトマト農家以外の方とも知り合うことができ、地域の方々と一緒に笑う場所があることに、すごく救われています。そこから友達もできて、地域外の農家の方とのつながりもできました。学生の時授業で足を運んだ他の農村に比べて、ここは協議会がしっかりとっていて、元気だなと思います。

これから・・・

トマト栽培に1年半携わり、自分でも工夫したり失敗をしながらも、こうすればこう反応するなどと考えて、もう3年くらいトマトをやってみたいという思いもあります。また、むつみの野菜物のおいしさや、むつみの野菜で作ることができ加工品をもっとたくさんの人に伝えたり、食べた人の感想なども聞いたりしたいとも思っています。

農業は経験のない人が簡単にできるものではないので、すぐにいろいろなものができるとは思っていませんが、自分が食べるもの、食卓に並ぶものが全部作れるような、また、出荷したものがどう消費されているのかが見えるような農業がしたいと思っています。

支援員は今年度末までで、来年の4月以降は今のところ未定です。営農集落支援員という仕事が萩に来るきっかけを作ってくれましたが、今はやりたいことがいろいろあって、なかなか絞れないのも実情です。今の生活は続けたい気持ちですが、やっつけでいるのであれば、農作業から離れず現場にいたいと思っています。



マップ作りにも参加



Uターンして、地域に根ざした総合診療を実践

萩市民病院総合診療科科長、
萩市休日急患診療センター副センター長

ひろゆき
齊藤 裕之さん

(萩高平成6年卒 38歳)

移します。そこは、大学病院のような先輩後輩の垣根はなく、病院全体が一つのチームとして学び合い、向上していこうというスタイルでした。

医学教育の質が高ければ、医療の質も向上するのだと感じた3年間の研修は、私の原点になっています。28歳からは、岡山家庭医療センターの立

3年間、家庭医として勉強を重ねます。

その後は、総合診療科を立ち上げることにした東京医科大学に勤務し、3年間、臨床医としてだけでなく、研修医の指導教育も経験。更に、次の勤務先である同善会クリニックでは、副院長として

経営にも携わるようになり、当初患者さんが1日5人ほどしか訪れなかったクリニックを、2年間で120人が訪れるまでに成長させることができました。

この時の事務長が、医療系コンサルタントをしていたことから、組織論や経営などについて教えていただき、医者と経営者がうまく連携することによって病院が向上していくのだということの手応えを感じました。この時の経験はもとより、医療業界において新規参入となる総合診療科が生き残って

いくためには、組織論やリーダーとしてのスキル、経営などについて有用な知識を身につける必要があると思います。MBA（経営学修士）の取得を決意。2年間、在宅ケア専門のクリニックに勤務しながらビジネススクールに通い、昨年、英国国立ウエールズ大経営大学院MBAを取得しました。

故郷・萩の医療に

ビジネススクールに通っていた時、今後に向けての情報収集をしていた中で、萩市からお誘いを受けます。これまでの経験を生かして、総合診療医の指導教育をしていきたいという思いもあり、当初はお断りしたのですが、事務部長から、萩市の地域医療の厳しい現状を聞き、私の中にあつた郷土愛に火が付いたのでしょうか。

周囲に相談しても、多くの人から反対されましたし、実際に決断するまでに1年半ほど悩みましたが、今、ここで萩へ帰らないと後悔するのではないかと思います。平成25年12月に帰郷。萩市民病院で総合診療科を開設することになりました。

まずは、来年、私の元で研修したいという研修医が一人来ることに加え、再来年度からは、県からの要請により、東京の卒業2年目の研修医たちが定期的に萩で、診療をしながら地域医療を学ぶ研修を受け入れる予定です。

また、医師を地域で育てていくためには、専門医試験を受けるための研修プログラムが必要になることから、日本プライマリ・ケア学会に、卒業3～5年の医師が受ける後期研修プログラムを申請したところ、今年9月に認可を受けることができました。

地域医療に関心のある研修医を全国公募し、萩で医師を育てられる教育環境を整備できたことにより、帰郷してから提案してきたことが、最近、少しずつうまくいくのではないのかなと思いはじめます。

総合診療は、地域に根ざしていることが、本来あるべき姿だと思っています。将来は、萩で育つた若い医師たちと共に、萩だからこそできる医療を言語化、または文献化し、学会などで外に発信することが、私の今の目標です。

祖父の影響から総合診療医に

田町商店街の一角にある靴店の息子だった私が総合診療医となったのは、地元で診療所を営んでいた祖父の影響が大きかったと思います。

萩高校卒業後に進学した川崎医

科大学は、全国の大学の中で初めて総合診療科を設立した大学で、在学中、先進地であるアメリカの病院に何度か研修にも行ったことから、総合診療に触れる機会も多く、将来的に、日本でも必要とされる分野なのではないかと感じていました。

また、町医者だった祖父の姿も潜在的に私の中にあり、医者ならば患者さんのすべてを診るのは当然なのではないかと思っていたことから、総合診療医の道に進みま

キャリアを一つずつ積み重ねる中で、MBAも取得

卒業後は、ほとんどの研修医が大病院に残るなか、私は1年間だけ川崎医大病院で過ごした後、医局とは別のキャリアを選択し、福岡県の麻生飯塚病院に研修先を

萩で総合診療医の育成を

現在、総合診療医としての診療はもろろん、医師不足が叫ばれている萩市で、若い医師を育てていくための取り組みを進めています。



萩市民病院



鮮魚店直営で鮮度の高い魚料理をリーズナブルに
旬鮮 Dining 次男坊 店主

しょうじ
松本 昌二 さん
(萩商業平成12年卒 33歳)



次男坊定食 (1,080円)

人気の「次男坊定食」は、刺身や煮付けといった魚料理をはじめとする全9品の内容で、デザートも付いているので、特に女性のお客様に好評です。
リピーターの方も多く、萩市内はもちろん、長門や山口、益田などからもお越しいただいています。オープンから2年が経ちましたが、市街地から少し離れている立地にも関わらず、足を運んでいただけていることに感謝しています。

新鮮な魚を
食べてもらいたい

鮮魚店が経営する飲食店です、萩の方たちは魚を食べ慣れているので、鮮度には強いこだわりと自信を持っています。

その日仕入れたものは、その日のうちに提供することは当然ですが、例えば、活魚が手に入れば、「血抜き」に加えて、身が固くならな

いよう、「神経抜き」という処置を施し、鮮度を保つようになっています。下関では、神経抜きをしなければ値段がつきませんが、こちら、やはり、唐戸魚市場で勉強した、新鮮な魚を提供するためのノウハウが生かされていると思います。

越ヶ浜の知り合いの漁師さんたちもお越しくださいますが、漁師さんから、「鮮度が良い」と言われるのは本当に嬉しいですね。また、お客様の中には、うちの魚ならば食べられるとおっしゃってくださいる方もいます。「おいしかった」、「新鮮だね」と声を掛けていただくことも非常に多いです。

新鮮な魚を提供すれば、そのおいしさはわかっていただけだと思います。鮮魚店直営だからこそ、これからは、鮮度の高い魚料理をリーズナブルに提供していきたいですね。

鮮魚店の次男坊が営むお店として人気の「旬鮮 Dining 次男坊」。店主の松本昌二さんにお話を伺いました。

唐戸魚市場で魚のプロに

椿東小学校から萩商業高校(現萩商工高)まで、野球部に所属していた私は、高校卒業後、下関唐戸魚市場株式会社に就職しました。父は萩市内のスーパリーのテナントで「まつもと鮮魚」を営んでおり、鮮魚店だけでなく、弁当・惣菜コーナーも手掛けていました。

当時は、私自身、家業を継ぐつもりはなかったのですが、唐戸魚市場で多くの萩商業高校野球部OBが活躍していたという縁もあり、偶然にも、家業と同じく水産業界

に身を置くこととなったのです。

唐戸魚市場は、南風泊市場と唐戸市場、下関漁港市場の三市場を拠点に、下関特産のフクをはじめ、全国各地や海外から入ってくる活鮮魚介類を取り扱っています。私も三市場を歩き来しながら、さまざまな魚の集荷販売に携わってきました。卸売が専門ですから、漁師さんが獲ってきた魚を1円でも高く売ることができるよう、また、目が利く仲買さんに買ってもらえるよう、できる限り、新鮮な状態を保つために魚の締め方などは勉強しました。

唐戸魚市場には12年間勤務しましたが、30代に入り、今後の人生を見つめ直したところ、市場での仕事に一区切りをつけようと考え、

Uターンし、
飲食店を経営

2年前の平成24年4月末に退職。萩へUターンすることにしました。退職したものの、今後については未定でしたので、とりあえずは家業の手伝いを始めます。そんな中、テナントとして惣菜店が入っていたスーパーが閉店することとなり、新たに空き店舗を借りて、弁当・惣菜部門を継続していくこととなりました。

その店舗のスペースが広がったことから、新たな展開として、飲食店の経営を私が任せられ、同年9月に「旬鮮 Dining 次男坊」がオープンしました。

毎朝3時に起きて、父と一緒に、浜崎卸売市場と萩地方卸売市場に出向き、新鮮な魚を仕入れて、ランチを中心に営業しています。ほとんどのお客様が注文される

■旬鮮Dining次男坊

住所／萩市椿大屋 2152-3

(市街地から明木方面へ、山陰道入口を過ぎて最初の信号を左折し約100m進んだ右側)

営業時間／11時～14時(オーダーストップ13時30分)、18時～22時(オーダーストップ21時30分)

※夜は要予約

定休日／火曜日

※日曜日はランチ営業のみ

☎0838・21・7001





こだわりの家具で生活空間を提案 中原木材工業 家具職人

ちゅうげん
中原 忠弦さん (40歳)

カッコ良いと思うものを作る

そんな中、34歳の時に転職が訪れます。身内や友人から「都会で良いモノに触れたほうが良い」と言われ、京都・大阪の有名な家具店に足を運んだほか、京都で活躍する秋出身の元家具デザイナーの方を紹介してもらい、その方から家具を作るためには、良い家具を解体して構造を知ることが大切だといったアドバイスをもらいました。

都会で素晴らしい家具に触れたことで、高価でも、自分がカッコ良いと思うものを作れば良いと感じた私は、購入した家具の解体から勉強し直し、本格的に家具製作に取り組みようになりました。

また、テレビを全く見なくなり、映画をよく見るようになったのも、この頃からです。約2時間の作品に多額の費用をかけて制作される映画は、モノづくりの究極の形だと思っています。なぜ、この作品を作ったのかという観点から学ぶこともあれば、映画の世界観からインスピレーションを受けることもあります。そうして生まれた私の家具は、ロボットやUFOなどをイメージした近未来的なデザインのものが多いですね。

趣味でキャンプをしていたこともあり、屋内外問わずに使用できるものを作りたいと、実用性、機

能性にも優れた家具を作ることにこだわっています。アウトドア用品や実体験からヒントを得て、家具の持ち運びが容易にできるよう、強度や安定感を保ちながらも無駄なものは省くよう改良を重ねたほか、肌に触れる椅子は、座り心地や背もたれの角度などにもこだわりました。

ロックバンドをしていた頃から革製品も好きで、独学で学んだ革細工も取り入れて製作しています。これまでの経験はもちろん、人や映画との出会いによって、自分の内面から作りたいものが出てくるようになり、それが、現在の家具づくりに反映されています。

廃材を使用したスタジオに、ものづくり好きが集まる場を

家具作り以外に、店舗の内装、デザインや施工も依頼されるようになったことで、生活空間をトータルで提案することが必要だと考えるようになり、昨年春から工場の一部をリノベーションし、自分の家具や空間を提案する「基地」のようなスタジオを作っています。

そこには、使われることなくなった石やレンガなどの廃材を使用しています。廃材も、元々は必要に迫られて作られたものばかりではなく古くなっただけのものです。都会にはない、山や川などの自

遊んでばかりいました。

家具づくりへの葛藤

一方、祖父の代から製材所を営んでいる家は、主に大手企業の下請けをしており、多くの従業員を雇用していた時期もありました。私が秋に帰ってきた当時は、仕事も少なくなっていて、工場は廃墟のようになっていました。

卒業後は、工場の片付けや錆びた機械を整備しながら、廃材などを使用して、おもちゃのような椅子や台などの木工品を作り始めました。次第に、知り合いから依頼を受けるようになりましたが、大きな収入となるものではありませんでした。当時は、自分自身もどんな商品を作れば良いのかわからず、趣味のバンド活動やアウトドアキャンプに夢中になる日々が10年ほど続きました。

都会へ飛び出した青春時代

デザイン性だけでなく機能性も兼ね備えた家具を製作し、若者を中心に注目を集め始めている家具職人・中原忠弦さんにお話を伺いました。

中原木材工業の長男として生まれた私は、地元の小中学校を経て、長門高校を卒業しました。家業を継ぐ気はなく、都会への憧れから、大阪のカバン卸売り会社や広島のレストランに勤めましたが、いずれも自分のやりたいことではないと思い、それぞれ一年半ほどで退職しました。そして、22歳の時に秋へ帰郷。両親からの勧めもあり、下関市にある山口県立西部高等産業技術学校に入学しました。家業に近いインテリアデザイン科に籍をおき、学校には毎日通いましたが、当時は学ぶ気持ちには全くならず、



■中原木材工業
住所/萩市樺東378
☎08388-22-3966
HPアドレス <http://www.nakahara-mokuzai.com>

「萩まちじゅう博物館」の 取り組みが世界へ！

中東のヨルダン国サルト市において、現在、「萩まちじゅう博物館」をモデルとしたまちづくりや観光開発が進められています。

そのサルト市を、10月3日から6日まで、サルト市長の招待を受けて野村興児萩市長が訪問。サルトエコミュージアム（サルト市版まちじゅう博物館）の開館式に参加するとともに、萩まちじゅう博物館の取り組みについて関係者に紹介しました。

サルト市に萩まちじゅう博物館の仕組みを導入

サルト市はアンマンに首都が移されるまではヨルダン国の首都であり、かつては政治、経済、文化の中心地でした。石造りの歴史的な建造物が多数立ち並ぶ町には、長い年月を経て培われた有形・無形の文化遺産（おたから）が散在し、そこに人々が誇りを持って暮らし続けているなど、萩市と共通点が多いまちです。

ヨルダン国で、萩市の住民参加のまちづくりや観光が注目され高い評価を得るきっかけになったのは、平成16年に関係者が萩市を訪れたJICA（独立行政法人国際協力機構）の研修です。

石油を産出しないヨルダン国では、これまで世界遺産のペトラ遺跡や死海などの豊かな考古遺跡やダイナミックな自然を活かした観光への取り組みが進められてきました。そのような中、萩まちじゅう博物館をモデルとして、人々の暮らしとともに息づくアラブの伝統文化を新たな観光に結びつける試みが開始されました。

平成24年からは、JICAの「ヨルダン国における持続可能な観光開発プロジェクト」に3年間の予定で取り組んでおり、関係者が3度にわたり萩市を訪れて研修を行っています。萩市からも、まち

じゅう博物館（エコミュージアム）や中核博物館の運営、景観管理の仕組みの導入などの技術協力のために、専門職員2人が毎年派遣されています。

サルトエコミュージアム開館式で萩市長がスピーチ

10月3日、サルト市でサルトエコミュージアムの開館式が行われ、ヨルダン国観光遺跡大臣に続き、野村市長が来賓としてスピーチを行いました。

その後開催されたサルトフェスティバルは、毎年5月に開催される「浜崎伝建おたから博物館」をモデルとしたもので、マップを手にまちや公開された家々を巡り、住民による伝統的な衣装を身にまとい、伝統衣装の着付けを体験できるプログラムが用意されていました。

また6日には、野村市長が行政や観光関係者を対象に、「萩市はまちじゅう博物館を推進し、おもてなしの観光を住民や事業者の協力で実現している。長続きする観光開発には、住民が主体的に参加するエコミュージアムの手法が有効で、サルト市でも体験型、交流型の観光開発ができる」と講演しました。

萩市の取り組みが、世界で注目されつつあります。

■問い合わせ
萩市まちじゅう博物館推進課
(08388・253290)

次代への継承に活用を 幕末歴史資料3247点を萩市に寄贈

8月24日、幕末を語る貴重な歴史コレクション、3247点が萩市に寄贈されました。

寄贈は、下関市在住の小川忠文

さん（74歳、幕末歴史資料コレクター）によるもので、約50年かけて収集したコレクションは、「軍事」「天文」「測量」「医学」「科学技術」「歴史資料」の6分野にわたります。これまで文献でしか知り得なかつたものが、現物の道具を通じて立体的に感じ取ることができることから、大変貴重な史料といえます。

小川さんは、「幕末歴史資料は維新胎動の地である萩にあるのがふさわしい」と、幕末の研究や、次代への継承に活用してもらいたいと寄付の理由を説明しました。

類をみない規模の 歴史コレクション

幕末維新動乱期に使用されたゲベル銃・ミニエー銃などの鉄砲類や武器類などの軍事関係資料、江戸時代に日本で最初に作られた天文成象図（天体図）などの天文関係資料、伊能忠敬も使用したものと同様の測量器である象限儀などの測量関係資料、エレキテルと称する電気式医療器具などの医学関係資料、江戸時代の国産の顕微鏡などの科学技術関係資料や歴史

関係資料など、歴史的に貴重であるとともに、分野も多岐にわたったり、他に類を見ないスケールとなっています。

2017年（平成29）に旧 明倫小学校舎を活用して展示

萩市では、これらの史料を詳しく調査し、保存整備を進めている旧明倫小学校校舎棟（2号棟）で、平成29年4月からの展示公開を予定しています。

歴史的・文化的価値の高い資料を旧明倫小学校校舎で展示公開することで、平成30年の明治維新150年の記念の年に向けて、市民や観光に来られた方に、明治維新や日本の近代化について、理解を深めてもらえる大きな契機となることが期待されます。

■問い合わせ
萩市企画政策課
(08388・253569)



サルトエコミュージアムの開館式でスピーチする野村萩市長



コレクションを解説する小川さん

萩の「空き家情報バンク」で移住・空き家活用しませんか



「有吉ゼミ」(日テレ系列)
放送後、問い合わせが殺到



「田舎暮らしの本」
(宝島社)
10月号で紹介

萩市が定住支援策として行っている「空き家情報バンク」が全国から注目を浴びています。

8月11日、人気テレビ番組「有吉ゼミ」で、「土地付き一戸建てが50万円で購入」として萩市の空き家情報バンクの物件が紹介され、大反響を呼びました。番組内では、激安で借りられる庭・畑付きの賃貸物件や、萩の美しい海の幸、漁業や農業の就業支援制度などについても紹介されました。

萩市定住総合相談窓口には、放送直後から問い合わせが殺到。放送のあった8月には、それまでの月平均の3〜4倍となる100件を超える相談・問い合わせがありました。

また、田舎暮らしをしたい人のためのガイド雑誌「田舎暮らしの本」10月号でも、5ページにわたる萩市の物件情報や移住者のインタビューが掲載されるなど、今、萩暮らしが注目を集めています。

市の定住総合相談窓口では、移住希望者がスムーズに移住できる

ように支援を行っています。萩への移住を検討されている方はお気軽にご相談ください。

◆空き家情報バンクとは

萩市内にある使用されていない住宅等を、所有者の了解を得て空き家情報バンクに登録し、移住希望者の住まい(賃貸・売買)としてホームページなどで物件情報を提供しています。

空き家情報バンクを含む定住総合相談窓口を経由した萩市への移住者は、平成18年の窓口開設から111世帯、213人にのぼります(9月末現在)。

◆空き家を活用しませんか?

空き家情報バンクには、これまで219件の登録がありました。成約済みのものなどを除くと、情報提供している物件は57件と少なくなっています。

萩市内に所有している空き家を登録し、有効活用してみませんか。

■問い合わせ 萩市定住総合相談窓口(企画政策課内) (0838・25・3819)

萩高校合唱部

全日本合唱コンクール出場!



▷富川命生部長(3年)「萩高にしか出来ない演奏をがで、楽しいステージでした。」
▷松屋先生「生徒と臨んだ初めての全国大会。納得のいく演奏ができました。」

10月25・26日に岩手県で開催された「全日本合唱コンクール全国大会」で、中国5県の代表として出場した萩高校合唱部が銅賞を受賞しました。萩高校合唱部の当大会への出場は3年連続、5回目となり、NHK全国学校音楽コンクールと合わせると、5年連続の全国大会出場となります。

今年3月に、長年合唱部を指導してきた有富美子先生が定年退職し、新年度からは有富先生の後輩にあたる松屋まなみ先生がそのバトンを引き継ぎ、新しい合唱部がスタートしました。

2/8

明治維新 150年 萩・幕末維新検定

幕末・明治維新に関し、萩ゆかりの人物や歴史等を学ぶ「萩・幕末維新検定」を開催します。

今回から、「中級・門下生コース(昨年の検定と同レベル)」と「上級・師範コース」の2コースとなります。

▽検定日 平成27年2月8日(日)午前10時~(90分間)

▽検定場所 萩市民館ほか

○中級・門下生コース ▽受検資格 どなたでも ▽出題 択一式50問・記述式50問 ▽検定料 3,000円

○上級・師範コース ▽受検資格 第1回萩・幕末維新検定合格者 ▽出題 択一式30問・記述式70問 ▽検定料 3,500円

◎申し込み ▽申込締切 平成27年1月15日

「萩・幕末維新検定ホームページ」からお申し込みください。

※割引制度や受検者特典があります。詳しくは「萩・幕末維新検定ホームページ」をご覧ください。

◆検定問題集(公式テキスト)

▽A5版、179ページ ▽定価 1,500円

※電話・メールでの注文、配送可。

(0838・25・3177、メール npomachihaku02@royal.ocn.ne.jp)

■問い合わせ 萩市まちじゅう博物館推進課

(0838・25・3290)

10月11日 萩商工高校体育館(萩市)

萩商工つばき会総会



統合して第6回目となる総会で、約400人が参加。今年度から暑い夏を避け、10月第2土曜日の開催となりました。今年の引受期代表は、昭和53年商業卒の久保吉史さん。

池田誠次会長は「今年度は、在校生の活躍も多く、野球部の甲子園山口県予選大会のベスト4や、少林寺拳法全国大会への女子組演舞の出場。また、卒業生がアジア大会7人制のラグビー日本代表選手として金メダル獲得など、多くの感動をいただきました」とあいさつ。

品川豊勝校長は「人口減に伴って若干生徒は少なくなっていますが、部活に勉強に非常に頑張っています。本校の生徒像、チャレンジ精神をもって、ふるさとを愛し、地域の発展に貢献できる学生を育成、生き抜く力をつけて生徒を送りたい」と近況を報告しました。

懇親会では、ハワイアンの踊りや恒例の福引抽選会などもあり、旧友と楽しく語り合いました。

会員投稿 

8月16日 萩本陣(萩市)

萩高昭和47年卒(24期)還暦記念同期会



萩高24期、通称「萩高ニッパチ会」の還暦を祝う記念同期会に全国各地から118人が集いました。室田浩一世話人代表のあいさつに続き、乾杯、スライド映写、福引き抽選会など趣向を凝らした記念同期会は、高校時代の顔写真入りネームプレートの懐かしい友とも再会し、大いに盛り上がりました。また、準備した真っ赤なりぼんを、蝶ネクタイや髪飾りなどにして身を飾り、還暦を祝いました。

そして、昭和62年八八会を引き受けた時のテーマ「私の裡で鳴りやまない詩」を思い出しながら、友との再会を喜び合い、最後に校歌を歌って中締めをしました。

有富美子(萩市)

会員投稿 

8月14日 だいにんぐまめた(萩市)

萩高昭和49年卒(26期)同期会



8月14日、毎年夏恒例となっている萩高26期同期会を開催しました。男性14人、女性9人が出席。今年は東京・大阪・広島・萩のまとめ役が事前に開催案内を行い初参加の人も多く、大いに盛り上がりました。また来年は還暦なのでもっと多くのメンバーに呼びかけ「還暦同期会を開催しよう」ということになりました。

最後は全員で校歌を斉唱、予定した時間はあっという間に終了、この後ほぼ全員が2次会(カラオケ)へ。翌日はこれも恒例になっている有志によるゴルフ会を開催しました。

26期の皆さんへ。次回の還暦同期会は2015年8月14日(金)午後6時30分、萩本陣です。来年の夏はぜひ集まりましょう。
児玉晃一(大阪府堺市)

会員投稿 

9月13日 銀座アスター賓館(東京都)

三見中学校同窓会

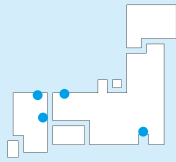


9月13日、お茶の水の「銀座アスター賓館」で24人が集まりました。今回が14回目になります。おじさん、おばさんになっていても、三見中同窓会は、子ども心に帰るタイムトンネル、みんなに会えば幼い頃を過ごした三見の海や山、田圃や畑の風景が蘇ります。

おいしい料理に舌鼓を打った後は、神田明神にお参りし、天野屋の特製甘酒をいただくのが恒例になってきました。

次回の三見中学校同窓会は2015年9月12日(土)にお茶の水の「銀座アスター賓館」で行います。

幹事 坪井(福田)良子



9月14日 西鉄グランドホテル(福岡県)

九州指月会



23回目、28人が出席。会長の藤田博文さん(昭和34年卒)から、会長職を廣瀬勝彦前事務局長(昭和39年卒)に、事務局長を山縣修さん(昭和43年卒)にバトンタッチし、自身は萩の宣伝に専念したいとあいさつされ、大河ドラマ「花燃ゆ」先取り学習として「松下村塾に学ぶ」の開催案内がありました。

司会の松浦好徒さん(昭和51年卒)の軽快な進行で、ハズレなしのビンゴ大会も大いに盛り上がり、終始和やかな雰囲気につつまれ、最後に校歌を合唱しました。

会員投稿 10月5日 杉乃井ホテル(大分県)

見島中昭和40年卒(第18期)同期会

第18期 見島中学校卒業生 同窓会



5年毎に開催している同期会を別府市で開催しました。今回は、学校を卒業して50年目の節目の年でもあり、全国から多くの皆さんが出席する予定でしたが、台風18号の影響で見島からの定期船が欠航してしまい、出席者は半減してしまいました。突然の止むを得ない事情によるものとはいえ、出席できなかった方が多くおられたことがとても残念でした。

この影響で、会の盛り上がりには欠けるのではないかと危惧しましたが、その心配はよそに、久しぶりお会いしたこともあり、深夜まで歌と温泉でとても楽しく、和やかなひとときとなりました。

最後に、次回も元気にお会いすることを皆さんで約束して、散会しました。 山谷幹夫(福岡県北九州市)

会員投稿

9月10日 高大(萩市)

椿西小昭和27年卒同期会



同期会は1年に1度開催しており、萩在住の皆さんや遠くからは関東・近畿地区からも帰省し、昔懐かしい萩弁が飛び交う賑やかな集まりです。

今年は恩師・横山繁先生が卒寿を迎えられ、お祝いの会を併せて開催しました。先生は私たちが5・6年生の時の担任で、卒業後も60数年お世話になっています。現在先生は、船釣りに出かけられたり、謡曲の師範をされたり大変お元気です。当日は鶴亀を吟じていただきました。

私たちも75歳を迎え、先生の元気をもらって喜寿、米寿を目指して頑張ろうと誓い合いました。この素晴らしい仲間の同期会をいつもお世話いただいている岩田薫さんに感謝の気持ちでいっぱいです。来年も元気で楽しい同期会に集まることを誓って散会しました。 揚井勝利(奈良県大和郡山市)

会員投稿

9月24日 萩一輪(萩市)

育英小卒業65年記念同期会



昭和24年育英小学校(須佐)卒業生が、卒業65年記念同期会を開催しました。前回の還暦同期会から久々の集いとなり、関東・関西・広島・福岡をはじめ須佐地区・県内各地から28人が参集しました。

卒業以来の初参加者をはじめ、還暦以来久しぶりの再会者もあって、大いに久闊を叙すことができました。65年の歳月は同級生の22%を失い、22%が所在不明になりましたが、傘寿の同期会を約してお開きになりました。

折から台風の余波を受け、維新150年市内観光は次回の楽しみに残して再会を約しました。 近藤安弘(東京都)

情報アラカルト

北海道地区

■岡田泰 作陶展

11月9日(日) まで
北海道旭川市一条通8丁目右1
西武旭川店A館
(0166210111)

■岡田裕 作陶展

平成27年1月28日(水) ~ 2月2日(月)
北海道旭川市一条通8丁目右1
西武旭川店
(0166210111)

関東地区

■つばき会関東支部総会

関東地区の萩商工同窓会。
11月8日(土) 午後2時~
東京都品川区大崎(大崎駅東口)
ニューオータニイン東京
(0333734020) 野村

■東京須佐弥寛会

関東地区の須佐地域同郷会。
11月15日(土) 正午~
東京都港区高輪(品川駅高輪口)
日立金属 高輪和彊館
(04622556207) 勝山

■元陽展(絵画全国公募団体)

萩市出身で広島市在住の西村不か可止さんの作品が展示されます。
11月6日(木) まで午前9時30分

午後5時30分(入場は5時まで)
※11月4日(火)は休館、最終日
入場は13時30分まで、閉会は14時。
観覧料 一般700円、大学生500円、高校生以下・70歳以上・障害者
手帳をお持ちの方は無料

東京都台東区上野公園8・36
東京都美術館2階
(0339236921)

■日原史絵×大石将紀×山本和智 リサイトル

萩市出身の現代音楽作曲家 山本和智の楽曲を日原史絵(琴・三絃)、大石将紀(サクソフォン)が演奏します。
11月14日(金) 午後7時30分
入場料 2000円(当日2500円)

東京都渋谷区桜丘町(渋谷駅から徒歩5分) 渋谷区文化総合センター大和田4階
(0334643251)

■アイフンダー2014

全国の島々が集まる祭典。萩諸島からは、見島のウニ瓶詰、大島のいもち、相島のさつまいも、櫃島のたまねぎ等を販売。
11月22日(土)、23日(日・祝)
午前10時~午後6時(23日は午後5時まで)

東京都豊島区池袋 池袋サンシャ

インシティ文化会館 3階展示ホールC
(問) 実行委員会
(0368229246)

■一坂太郎講演会「吉田松陰とその家族」

11月23日(日・祝) 午前10時~
講師 一坂太郎(萩博物館特別学芸員)

入場料 1000円
東京都文京区春日1・16・21
文京シビックホール2階小ホール
(問) 萩大志館(Eメールのみ)
hagitaisikan@gmail.com

■現代陶芸「現象」展

現代陶芸の新たな騎手たちに焦点をあてた展覧会。岡田泰、濱中史朗、三輪華子の作品が出品。
11月24日(月・振休) まで
茨城県笠間市等間2345
茨城県陶芸美術館
(0296700011)

■柳井嗣雄展「Dark Cloud」

萩市出身で和紙アート活動を行う柳井嗣雄の作品展。
12月6日(土) ~ 28日(日)
東京都調布市仙川町1・24・1
プラザギャラリー
(0333001010)

■岡田裕 作陶展

12月16日(火) ~ 24日(水)
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1・6・2 そごう大宮店
(0486462111)

■おいでませ山口館 年末大出し

萩の蒲鉾や夏みかん加工品などを販売。
12月下旬 午前10時30分~午後7時

東京都中央区日本橋2・3・4
日本橋プラザビル1階
(0332311863)

中部地区

■三輪和彦「淵淵に立つ」

11月12日(水) ~ 18日(火)
愛知県名古屋市中村区名駅1・1・4
ジェイアール名古屋タカシマヤ
(0525661101)

■「やきものって何だ」巡回展

三輪壽雪(十一代休雪)の「鬼萩窯変割高台茶碗」など、県立萩美術館・浦上記念館が所蔵するコレクションが展示されます。
12月14日(日) まで
滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188
・7 滋賀県立陶芸の森
(0748830909)

関西地区

■萩・倭新鋭陶芸作家4人展

岡田泰、渋谷英一の陶芸作品が展示されます。
11月5日(水) まで
大阪市阿倍野区阿倍野筋1・1・43 あべのハルカス近鉄本店
(0666241111)

■金子信彦 作陶展

平成27年2月4日(水) ~ 10日(火)

第61回日本伝統工芸展

陶芸家岡田裕、岡田泰、玉村信一、野坂和左、波多野善蔵、松尾藻風の作品が入選しました。
◆金沢展 11月9日(日) まで
石川県立美術館

◆岡山展 11月13日(木) ~ 30日(日) 岡山県立美術館

◆松江展 12月3日(水) ~ 25日(木) 島根県立美術館

◆高松展 1月2日(金) ~ 18日(日) 香川県立ミュージアム

◆仙台展 1月22日(木) ~ 27日(火) 仙台三越

大阪府大阪市北区角田町8・7
阪急うめだ本店7階美術画廊
(0663611381)

■元陽展(絵画) 巡回展

萩市出身で広島市在住の西村不か可止さんの作品が展示されます。
平成27年1月14日(水) ~ 18日(日)
午前9時30分~午後5時
大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1・82(天王寺公園内)
大阪市立美術館
(0667714874)

中国地区

■「次代の息吹 萩焼 船崎透・玉村信一二人展」

11月5日(水) まで
広島県中区胡町6・26
福屋八丁堀本店7階

(082・246・6111)

■濱中孝子ジュエリー展

11月22日(土)～12月3日(水)
島根県松江市白濁本町33 出雲ビル4階 SOKA草花
(0852・27・0933)

■元陽展(絵画)巡回展

萩市出身で広島市在住の西村不可止さんの作品が展示されます。
12月9日(火)～14日(日) 午前9時～午後5時
広島県広島市中区上幟町2・22 広島県立美術館
(082・221・6246)

■西村不可止個展(サードシーズン)
■素敵SUTEKIお手伝い
(092・471・1021) 上村

12月～3月中旬 午前10時～午後5時

広島県安芸高田市八千代町勝田497・4 安芸高田市立八千代の丘美術館
(0826・52・3060)

九州地区

■つばき会九州支部総会

九州地区の萩商工同窓会。
12月6日(土) 午前11時45分～
福岡県福岡市博多区博多駅前2・20・1 大博多ビル12階
中国料理 頤和園
(092・471・1021) 上村

■つばき会下関支部・巴城会
下関地区の萩商工、萩高の合同同窓会。
11月8日(土) 午後6時30分～
下関市阿弥陀寺町4・2 春帆楼本店
(090・4652・5028) 原

山口県

■毛利博物館「毛利家と幕末・維新」大河ドラマ「花燃ゆ」の時代背景

明治維新を成し遂げるまでの毛利家の動向を8つのテーマで紹介。平成27年12月21日(月)まで
防府市多々良1・15・1 毛利博物館
(0835・22・0001)

濱中孝子のジュエリーが出品されます。
11月29日(土)、30日(日)
福岡県北九州市小倉北区馬借1・3・20 UNDER WORLD
(093・551・0305)

■濱中孝子アクセサリー展

12月13日(土)～24日(水)
佐賀県佐賀市神野西3・12・25 Lamp
(0952・20・2133)

■幕末「長州」史跡散歩

大河ドラマファン必見の「歩ける」史跡散歩。地図と写真で紹介。価格 950円(税別)
発行 洋泉社(歴史新書)
■吉田松陰と高杉晋作の志 一坂太郎
「松陰と晋作の志」(2005年刊)の改題、加筆修正再編集
価格 800円(税別)
出版社 KKベストセラーズ(ベスト新書)
■松下村塾 古川薫
同名書籍(1995年刊) 新潮社
の文庫化
価格 760円(税別)
出版社 講談社学術文庫
■松陰の妹文と松下村塾
「花燃ゆ」の見どころがよく分かる。

価格 1250円(税別)
出版社 三才ブックス

■吉田松陰の妹・文その生涯と真実

文が歩んだ激動の幕末史。価格 880円(税別)
出版社 メディアックス

■ふるさと萩・長門・美祿

ふるさと萩の成り立ちと変遷を400枚の写真で再現。
価格 9990円(税込)
A4版 232ページ
発売元 山口教科書供給
(0836・36・7302)

プレゼント

文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラマ館チケット(ペア)を3名様。
■応募方法 ハガキに品名、住所、氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。11月20日(消印有効)。

新規(再)加入会員

片山仁根さん (京都府城陽市)
加藤昌子さん (北海道江別市)
藤崎伊世夫さん (東京都葛飾区)
吉見浩さん (神奈川県相模原市)
荃田潤さん (東京都西東京市)
久保田泉さん (千葉県佐倉市)
伊勢田加代子さん (東京都中野区)
平田榮一さん (神奈川県川崎市)
大平宏子さん (神奈川県横浜市)
中平登美江さん (神奈川県横浜市)
福永博さん (静岡県富士市)
川島悟さん (東京都足立区)
福田勉さん (東京都中野区)
对比地和真さん (群馬県太田市)
原本悦美さん (萩市)
玉田浩子さん (東京都世田谷区)

藤原邦行さん (東京都立川市)
小見山庄司さん (千葉県習志野市)
上野由布子さん (神奈川県厚木市)
木地本直子さん (東京都大田区)
河野信明さん (静岡県三島市)
矢次史枝さん (東京都国分寺市)
小野麻理さん (神奈川県川崎市)
金子裕さん (東京都杉並区)
高田操さん (神奈川県横浜市)
伊藤広美さん (神奈川県平塚市)
石津真由美さん (千葉県柏市)
加藤岳志さん (千葉県流山市)
秋田望さん (福岡県福岡市)
堀修さん (福岡県行橋市)
元波優美さん (東京都文京区)
惠美奈大作さん (東京都目黒区)
(8月25日～10月23日 32人)

出版情報

■花冠の志士 小説久坂玄瑞

古川薫
価格 660円(税別)
出版社 文藝春秋(文春文庫)

下瀬信雄さん写真集「結界」16年ぶりに発売!

萩の山川草木を被写体に、精緻を極めた描写が自然とは人間とは何かを問う。



写真集「結界」モノクロ 144ページ

萩市瓦町の写真家、下瀬信雄さんの写真集「結界」が10月30日に発売されました。長年取り組んできた結界シリーズの集大成となるもので、写真集は、98年「萩の日々」以来16年ぶりとなります。定価：4,200円(税別)、発行：平凡社



文と萩物語

花燃ゆ大河ドラマ館

平成27年1月11日(日) - 平成28年1月10日(日)
 時間/9:00~17:00 会場/佐明小学校体育館



イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

11月8日(土)、9日(日)10:00~16:00
 ◇萩ふるさとまつり 中央公園ほか

11月9日(日)8:00~17:00 中央公園 市内各所
 ◇萩時代まつり

大河ドラマ「花燃ゆ」放映に合わせ、NHKラジオ公開生放送(山口県のみ)に杉文役の井上真央さん、高杉晋作役の高良健吾さんが出演。萩時代パレードに高良健吾さんが参加。

12月7日(日) 10:00~ 市内各所
 ◇萩城下町マラソン

12月13日(土)~1月7日(水) 17:30~22:00 ※13日は18:00~
 ◇萩イルミネフェスタ JR萩駅前

12月27日(土)~31日(水) 9:00~18:00
 ◇萩・年末お魚市 道の駅「萩しーまーと」

平成27年1月2日(金) 13:30~15:00
 ◇萩市成人式 萩市民館大ホール

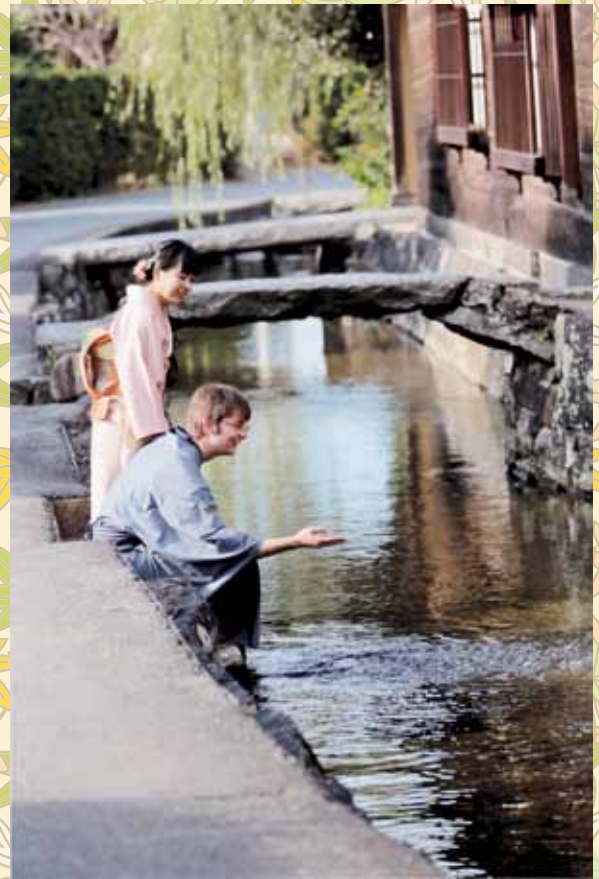
吉田松陰カレンダー 2015

松陰先生が残した詩文と解説を月ごとに掲載。

「親思ふ ころろにまさる親ころ けふの音づれ 何ときくらん」(10月)

59×21cm 13枚綴り カラー刷
 □定価 500円(萩限定販売)

■販売・問い合わせ
 マシヤマ印刷
 ☎0838・22・1103



2014 着物フォトコンテスト

グランプリ「藍場川にたたずむ」
 内山省三(山口市)

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

泥象 鈴木 治の世界

「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ

馬や鳥などの動物や、風や雲など自然現象のイメージから生み出された「かたち」が、鋭い造形感覚で力強く表現されています。

初期作品から晩年の未発表作品まで含む約150点を展示。

■観覧料 一般1,000円、70歳以上・学生800円、18歳以下は無料

■休館日 月曜日(11月3日、24日、12月22日は開館)

11月1日(土)
 ▼
 12月23日(火・祝)



雪の中の馬(1973年) 京都国立近代美術館

収蔵版画展 平成27年1月2日(金)▶25日(日)

近代・現代の版画作品を紹介。明治前期の貴重な版画作品や多彩な版画技法による個性豊かな版表現が楽しめます。

■観覧料 一般300円、学生200円、70歳以上・18歳以下は無料

萩博物館だより

☎0838・25・6447

攘夷から倒幕へ 萩藩苦難の道

描かれた幕末の萩藩

11月24日(月・振休)まで

特別展示室

兄松陰と妹文

～杉家の家族愛～

11月8日(土)

平成28年9月4日(日)

大河ドラマ「花燃ゆ」の放映に合わせ、吉田松陰や杉文(のちの榎取美和子)が書いた手紙(初公開を含む)などを展示します。



海を拓いた萩の人々

12月6日(土)

平成27年4月5日(日)

日本の漁業近代化を牽引したのは、萩の人々であった。海に恵まれた萩地域で生まれ育った人々が内外の海を拓き、水産物を通じて日本を支えてきた歴史を再発見する。

■観覧料 大人510円、高校・大学生310円、小・中学生100円